

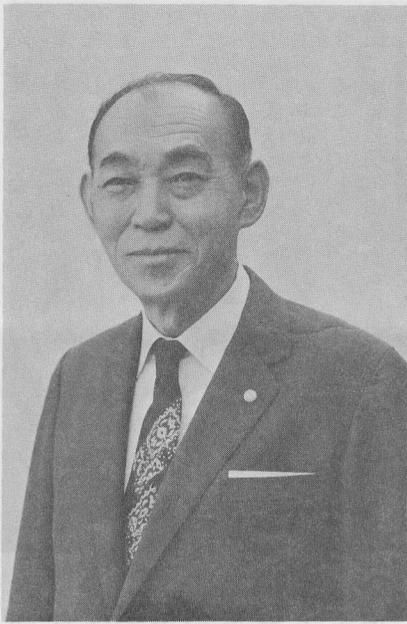
# いずみ会報

第19号

東京都立大泉高等学校同窓会

50-1-10





高田先生近影

大泉の時代から今日まで

旧職員 高田善之

まだ、三十代だったと思う。そのとき府立三中（現・両国高校）の中堅教員として勤務していたが、学校の成績が落ちて来たのを歎いて、校長や同僚を説きまわって、成績をあげようと建言した。これを学校がとりあげてくれ、三カ年たつて爆発的に成績があがったとき、校長が私の手をとって、「よかったね」といってくれた。学校の成績があがって喜んでいただけに、校長から感謝されて本当にうれしかった。

この感激をもう一度味つて

みたいと思つて、大泉中学校（現・大泉高校）から誘われるままに、教頭として赴任した。昭和十八年度の途中からである。

私の求めていたものは、学校の成績をあげて、二度目の感激を味わうことであつた。しかし、私一人の力ではどうにもならないことを知つていたので、自分が縁の下の力持ちになろうと決心した。これがよかつたか悪かつたかわからないが、なんでも悪いことは自分のせいにして、みんなに励んでもらおうとした。その上、教頭というものは、私が初めに考えていたより大

変むづかしいものだったので、私はもたもたしていたように思う。

それにもかかわらず、大泉中の校長が代つて、一年経つた昭和二十二年に私が一橋中学校の校長として転任することになったとき、高橋先生、中村先生をはじめ多勢の同僚の先生方が一緒に赴任して下さったことは、予想外であり、本当にありがたいと感謝している。

みんなの力で、一橋中はたちまち東京一の学校に育つた。私にとつての大きな感激でもあつた。八年半一橋中学校にいて、忍岡高校へ転任し、そこに六年半いて、定年退職した。定年退職と同時に専修大学松戸高校の校長に迎えられる。いま十三年間経つて、十四年目に入ろうとしている。

専修大学松戸高校は、現在評判がよく、なまじの公立高校よりは、入学しにくい。そして、自分の口からいうのもおかしいが、年々登り坂を登つて行く勢を示している。

六月二十九日(日)午後一時  
豊島園野外会場にて開催

# いずみ会総会

ご家族連れ大歓迎!!

先生方とも歓談のひとときを!!

会費 1口 ¥1,000 (20期以前 2口以上)

もちろん生徒も年々頼もしくなつてゐる。一例を示せば、一年間、無遅刻・無欠席・無欠課のものが、一年生だけで二百七十八人いる。これは一年生全員の三十八%に当る。

学校の世間からの評価のあがつてゐる原因は、一つには大学の付属であるためであるが、他のもう一つの要素は、教職員が教育に情熱を燃やしてくれていることである。また全校が「小さな親切運動」

に参加して親切に励げんできていることも、よい評価を受ける原因になつてゐると思ふ。私は現在七十三才になつているが、また何度目かの感激を味おうと欲を出している。そして、教職員の方やその他の方々に感謝しつつ、仕事に精を出す幸せを味つてゐる。さて、大泉にいた時代は、遠くなつたと思つていたが、文章を求められて、近距離にあることを知つて喜んでゐる。

〓座談会〓

春たけなわ、五月十一日、体育祭のまっさい中である。我々取材班は、大泉高校を、色々な想いをこめて訪ねてきた。先生方は近頃の泉を、どんな眼で見つめているのだろうか。集まっていた先生の先生方のお話を、ちよつと聞いてみることにしよう。



由化に踏み切りました。時代の風潮です。

本田 服装は何年か前から仕方ないですね。標準服は少なくなつたけど、この頃は、突飛なのなくなつた。慣れたせいか、感じなくなつたのかな。髪なんかにしても、僕もマネして少しのばしてゐる。ないんですけれどもね。(笑い)少しのばしてみようかなんて。



橋本 変わったことといつたら、やはり、服装、髪でしょ。うね。教室で間違



えますね男と女。宇高 女子についても、まあその程度です。

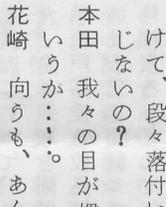


本田 (私立の制服は、かえつて不自然のような感じをもつ。)ただ自由化するの

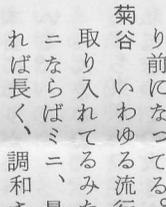
が、いいってわけじゃないけど、時代の先端をいくようなのは困るけど。どんな服でも、洗練されたつていうか...画的につめるより、かえつて感じがいい位に、私は思いますかね。花崎 四十七年頃から変わつたでしょう。その前から少



しづゝ変つてきてバアーと変わった時もあつたけど、去年から今年にかけて、段々落付いてきたんじゃないの?



本田 我々の目が慣れたつていうか...。花崎 向うも、あんまり変わつても変わりばえがしなく

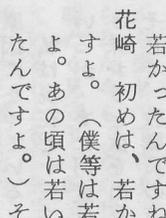


り前になつてる。菊谷 いわゆる流行は上手に取り入れてるみたいね。ミニならばミニ、最近長ければ長く、調和させてやっていますよ。それでいいんじゃないかと思ひます。

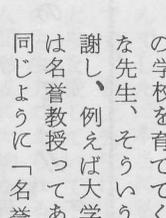
深谷 対面式では、一年生はほとんど学生服を着てましたね。前田 服装ばかりが中味じゃないか...昔から大泉はいいもんだ、と思つてるから...。本田 校舎はね、この学校の歴史と共に、完成したことは一ぺんもないですね。私がこの学校に来た時は、南校舎と西校舎だけでしたけど、だんだん生徒が増えて、毎年、増築に改築を重ねて、いまだに完成してない、三十年も...。花崎 動きのない時はない...、絶えず動いているんですね。本田 私がこの学校にきたとき、菊谷さんは中学三年でしたけど、その頃から、大人しい、お行儀のいい、いい生徒の集まつた学校でした。きびしいしつけの中に自由なところがあつたんですね。そういう気風は現在も受けつがれています。ただ昔は、人数が少なかった。今は人数が多いでしょう。たつた三年だし。どうも生徒諸君と我々とのなじみがピツタリこないんですね。小島 先生方の平均年齢が、だいたい若かえつたような感じがしますね。それは、や



つぱり学校の為にいいことじゃないですか?



本田 この学校は、今までも若かつたんですね。花崎 初めは、若かつたんですよ。(僕等は若い層です。あの頃は若い集めてたんですよ。)それが長



いるから、年とつちやつた。長くいてくれる先生、この学校を育ててくれたような先生、そういう先生を感謝し、例えば大学なんかには名誉教授つてあるでしょ、同じように「名誉先生」をね...。伝統というのは、誰かがお題目をとるなら、それをずーつとという訳にいかない、肉がついたり血がでたりするんだから。それを、永年いる先生が培つていく。それは卒業生が学校にきて感じることもなんだ。在校生はわかんない、そういう培われたつてことを。だから、できたら在校生の前で、そういうことをした

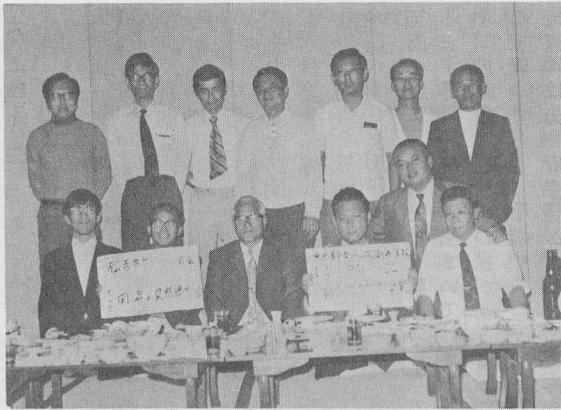
松吉先生を偲ぶ

第八回卒業生 松村正道

私が、松吉先生に送り出されて大泉高校を卒業したのが、昭和31年、それ以後まったく信じられない程早く時が過ぎて、来年は最早卒業20周年を迎えようとしている。

この20年間いつたい自分は、何をしていたのか、大雑把に人生を見るなら、20年間は人生の1/3にも相当する。

この間に大学受験、学生生活、就職、転勤、恋愛、結婚



また転勤と外国にまで足を伸ばしていた私が、またふり出しの東京にもどって来たのが一昨年であった。

戻って来ていろいろ、先生にお会いしたのは、わずか3度であった。最初は、関昇君のブラジルよりの帰国の会。20年ぶりにお会いした先生は、大部白髪も増えて20年間の先生の苦労、努力のあとがしのばれたが、今からご自分がや

らねばならないいろいろなことを普通元氣に話されていた姿を今でも思い出します。そんな先生に自分では成長したなあと思いついて、いる私達がどんなに写ったかはついに聞きも

らしてしまい、今はもう永遠に聞けなくなつてしまった。つぎにお会いしたのが、先生がお亡くなりになった年の新年会。そして、度目同期の吉田文毅、宮下元也等と先生との親睦ゴルフ。

この時だけは、教え子の方がスコアは上でした。そして4度目、これはもう悲しいことに先生の告別式の会場になつてしまいました。

私と先生のつながりはいつたい何だったのだろう。人生によく云われていることに、人は3人の師を持つてという。一人は自分に直言してくれる人、もう一人は自分が困つた時相談のつてくれる人、そして最後の一人は自分に真理を教えてくれる人。今の私の私が相談できる人は容易に見出すことができる。しかし、

私に社会、世の中の真理を教えてくれる人はいない。松吉先生は私にとって、まさに最後の師に相当する本当の師であつたであろう。

昔の教壇の上からの先生の教え、またホームルームや校外活動また先生のお宅を訪問した時、口では云わずに行動で示された先生の教え、また戻つていらいほんのつかの間の接触等で得た経験等、すべて今の私の人間形成に大きな

らしいんじゃないかな、学校自体が、いい意味でしまつてくる...

本田 同期会が盛んですね。中二、中三、高二、高四、よくやるようです。この間、河合先生がお辞めになつて、菊谷 あれば十月の下旬でし

たね。本田 その時、中二、中三、高三が合併でやつて、その席によればたんです。来月は高七の連中が大々的に同期会やるんだそうです。若い人のクラス会もこの間あつたけど、最近の人はうまいですよ、こういうコンパが、非常に楽しかった。

菊谷 不幸なこととしては、去年門馬先生が四月、松吉

先生が十月に亡くなられました。司会 今回の会報でも、大泉を去られた先生方を対象にして、いくつか取材しております。

本田 現役の先生は学校に来れば様子はわかるから、東京におられれば訪問していただくことね。どっちにしても楽しみです。

司会 今日は、先生方と前田さんに大泉の近況を語っていただきました。さらに大泉の発展を、同窓生一同、先生方と見守つて行きたいと思ひます。

どうも有難うございました。(二十四期榎本・山田・中山)

つながりを持つていることがわかる。先生が亡くなられていらい、今、私はしげしげと桜台のお宅に通つている。それは奥様が家を大改築しようとして、この設計をご依頼下さつたからです。先生にはまったく何のご恩

返しもできませんでした。せめて私なりに家庭を愛し、また愛妻家であつた先生のご志をくんで、本心に住みやすいと思ひます。また、同期生の宮下が施工を担当しますが、ホクシン・ハウス社長として、彼も思う存分腕をふるつてくれるでしょう。

## 石上堅先生 (ガミちゃん)

雨もすっきりあがったゴールデン・ウィーク第一日目の四月二十九日に、私達記者は、我が大泉創立以来四十一年三月まで本校で教鞭をとられていた、ガミちゃんこと石上堅先生のお宅を訪問しました。まだ緑を多く残し典型的な武蔵野の情景を思わせる府中駅からバスで十五分余り乗って西府中三丁目の停留所を降りるとすぐに先生のお住まいです。広い敷地に三軒の家が並んで建っており、その中央の母家には先生の奥様が、少々定刻より遅れぎみの私達を首を長くして待つて下さっていました。奥の二階にある先生の居室に通されると、昔、大泉にいらつしやつた頃よりも幾分か肥えられた先生が笑顔で快く迎えて下さいました。あまりのなつかしさと、想像していたよりずっとお元気そうだったことのうれしさとで、しばし感無量といた心地に襲われましたが、すぐに、十年間近くの隔たりがあるとは思えない位に話題がはずみ、た

ちまち三時間半が過ぎてしまいました。私達が退散するまでの間、大泉の創立以来のいろいろな先生達のうわさや学問上のお話、それにお孫さんについてなど、あとからあとから話題も尽きない程で、本当に楽しく有意義な時を過ぎ、又、昔先生に教わった二年前の古典の授業が再び懐しく思い出されました。

現在先生は、東横学園短大で主任教授をなさっており、その他講演や執筆など多方面で活躍され、六十七才とは思えぬ程お元気だったのは、私達にとつて何よりもうれしいことでした。

高校の先生には、大きく分けて、研究者と教育者の二つのタイプがあるようですが、私達が高校生の頃から概観しておりますと、石上先生は前者の方に属されるようです。授業の際に古文の一語一語をていねいに味わいながら読んで行き、要所要所に他の文献を引用したり、或は、方々の学説を挙げてそれぞれの解釈を施し、又、それについて批

評しながら読み進んで行った。あの魅力的な授業型式は、先生の日々の研究の賜だったのです。大変研究熱心な先生の姿を、在学中から感心して目にし、又、現在の御活躍ぶりを拝見するにつけ、この怠け者の記者は、我が身を振りかえり、「ああ、人間は努力をする限り、必ず報われる。一番大切なのは、日々努力を惜しまずに、目標に向かって突き進むことなのだ。」ということをも身につまされる思いでした。研究者をみざす者は、あのような心構えでなくてはいけないのだ、と今こそ悟り反省した、心身共にひきしまる三時間半でした。

しかし、時には厳しい表情で学校のことや研究について語られる先生も、ことお孫さんの話となると、満面笑みを浮かべ、目を細めて手離しの可愛がりようです。現在は四人の孫を持つ「良きおじいちゃん」ぶりを拝見させて頂きました。私達記者が会ったのは、そのうちの、外孫にあたる五才の十握(とつか)君と、

一才五カ月になる千五穂(ちいほ)君の二人。残る二人は、やはり同じ敷地内の別棟に住んでいらつしやる先生のご長男の子供達、つまり内孫にあたる羽振(はばり)君と満波(みつは)ちゃんです。名前を一見してもわかるように、ゴットフラーザー、つまり、名づけ親は石上先生で、古典の中から選んでつけた名前だそうです。

ところで驚いたことには、先生の娘さん(といつても既に二児のママですが)と、記者とが偶然にも大泉で同期だったのです。しかも、在学中美女にも眼をくれずにひたすら勉学にあけくれていたからか、あるいは、ただ訳もなくポーンとしていたからか、記者は全く、この美しきママさんが同期のサクラであつたのは、今の今まで知らなかつたのですよ。それを知った瞬間、記者は大いに驚き、大いに戸惑いました。そしてここでも反省し、教訓を得ました。「ある大事な事柄を立派に遂げようとする時は、じつくりと

下調べをし、熟慮し、これなら大丈夫と自信をつけてから行動にとりかかろう。」と。先生にお話しを伺っている間中私達は、先生が本当に大泉を、そして大泉の生徒を心から愛して下さり、大泉を去られた今も、この我が大泉を暖かく見守り、御支援下さっていることを、先生の言葉の端々から感じとれ、これ程までに大泉を……と頭をうなだれ、感謝せずにはいられませんでした。本当に私達は幸福です。石上先生はじめ、心底大泉を愛して下さる多くの先生方のおられる大泉で、人間形成に大切な思春期を送ることができたことを、そして大泉を去つて久しいのにいまだその先生と交流を結ぶことが出来ることを。

六月二十九日の同窓会当日、元大泉高校の教職員だった方が久し振りに会合を聞かれそうです。我が大泉が今後ますます発展するよう、どうぞお力添え下さい。私達同窓生も頑張っております。

(十六期高野 十九期渡辺)

### 各期のたより

四期

日高 周子  
(旧姓 福住)

大泉に、初めて女子生徒が入学した期、それが私共四期なのです。

当時、圧倒的な男子生徒に對し三十余名の私たちは、先生方から大へん親切にされました。少数のため、何をすることも目立ってしまい、それゆえ先生方にはほとんどが名前を覚えられておりました。このような私たちですから、まとまりもそれは良いものでした。

一昨年の秋、男女共学のクラスでしたF組とG組の担任をされていらした、清水先生(現練馬高)と橋本先生(現大泉高)をお招きして、女子のみの同期会を開催いたしました。三十余名の消息は、すべて把握されているため、連絡は完璧で、二十名程集まればと思っていましたところ、

二十五名もの参加を得ました。これは、私共が同窓会よりも、むしろ同期会に力を注いでいるのと、在学当時の結束の固さのためものといえるでしょう。

七期 遠藤 寛

私達の期は、今年で卒業後二十周年を迎えるのを記念して、来る六月八日、私学会館に於て、盛大に同期会を開催いたします。

今同期会は、卒業以来初めての試みなのですが、現在のところ、八十名以上の会員の出席と、ご招待申し上げているかつての先生方が、ほとんどご出席される見込みです。私の、同窓生とのふれあいといえますと、仕事柄(弁護士)、法律上の相談でみえる場合が少なくありません。

なかには、私を法律顧問的な存在として巧く利用し、万が一の時に備える人もいます。この法律相談では、非常に興味深い事例が多く、いざれ小説にでもしようかと考えています。ここで公にすること

とは避けて、別の機会に譲ることにはしたいと思います。

その他、仕事を離れてのおつき合いと申しますと、ゴルフのコンペがありますし、私共三十八才と三十九才間の七期連で、子供連れの家族ぐるみの交際が、小グループながら行なわれています。

このような動向の他、もつと詳細に消息を知るために、七期の名簿を作成する計画であります。つきましては、ご自身、または他の同期生が転居された場合には、是非とも左記までご一報下さい。

お待ちしております。

遠藤法律事務所  
(五六三) 三四四七

自宅

練馬区東大泉町三五四  
(九二二) 五二四〇

八期

(昭和三十一年卒業)

山谷 敬之

卒業以来、来年で二十年を迎えようとしています。

この間に担任であられた新藤・松吉両先生がご他界されました。担任の先生方を全員お招

きできなくなってしまったのは残念ですが、来年三月に二十周年の同期会を盛大に開きたいと準備をすゝめています。

その節には多数の参加を期待しておりますが、仲々全員の住所を確認することができず苦勞しています。この会報が届かなかつたという同期の方をご存知でしたら次の連絡先まで住所を知らせるようお願い下さい。

〒一七七

練馬区東大泉三八〇  
大泉高校内 山谷

五期

(二十八年卒同期会)

鈴木 桂子

卒業以来、旧G組を中心に細々と同期の集りが続いています。

一昨年の秋、はじめて連絡のとれる限りの同期生によびかけて桜台で同期会を開催。犬飼、河合、花崎、堀江の先生方もご出席くださって大変な盛会でした。卒業以来初めてという顔合せも多く、顔と名前を合わせるのに苦勞しながらも、お互いに再会を

喜び合いました。

その後幹事の努力で名簿もでき、聞き伝えて、次回はずいぶん問合せも多く、昨秋池袋で開いた同期会には、ふたたび犬飼、河合、花崎の三先生のご出席を得て約四十人が参加。例によつて二次会三次会と流れて旧交をあためることに深更におよんだとか。

毎年9月15日の敬老の日近辺の日曜または休日が同期会にあてられてきましたが、今年もその頃に開催の予定、今から万障くりあわせておいてほしいとの幹事の希望です。

まだ同期会と連絡がついていない方で参加を希望される方は、次の幹事のいづれかへご連絡ください。

田村晴美 横浜市中区滝之上 一三五根岸台第一マンションズ 901号 電話〇四五 六二一五〇八  
高橋典子 練馬区豊玉北四ノ一三ウイラ 桜台七〇六号 電話 〇三 九九二一六二六  
先崎真澄 春日部市大枝八九武里団地

一ノ三三ノ五〇二  
電話 〇四八七三四一、一九三三

十九期 渡辺千枝子  
(旧姓今村)

今日は雨がりの後に来る  
みずみずしい五月晴れ。大泉  
同窓生の皆様如何お過ごしで  
しょうか。私は大泉を卒業し  
てはや八年になり又、柏に住  
むようになってからは、遠き  
大泉を懐しく思い返しており  
ました。ところが遠いと思つ  
た大泉は意外に身近にもあつ  
たのです。と申しますのは、  
九カ月前に全くの私用で専  
修大学松戸高校の高田善之校  
長先生にお会いする機会を得  
たのですが、その方は、偶然  
にも昔の大泉の教頭先生だつ  
たのです。(それがご縁で本  
号にも貴重な原稿を頂戴する  
ことができました)偶然は重  
なるもので、今年四月から私  
は某高校で教えておりますが、  
その中の唯一人の若い女教師  
と話しているうちに、その方  
が、これまた大泉の一年先輩  
だとわかつたのです。私は大  
いに驚き、喜び、そして非常  
に心強く感じました。皆様の

周囲にも、案外知らないうち  
に職場で同窓生と肩を並べて  
坐っていた、なんてことがあ  
るかも知れませんよ。  
ところで私はこの誌面を借  
りて、広く自己PRをさせて  
頂きたいのです。なかなかド  
イツ語教員のポストがみつか  
らないのですが、もし皆様の  
周囲で欠員があるようでした  
ら、是非是非ご紹介して下さい。  
非常勤講師でも結構です。  
大学院修士課程を四十九年に  
修了し、今は研究生です。

また十九期の消息につきま  
しても、是非左記へご連絡く  
ださい。  
電話〇四七二(63)八五六四  
或いは(22)三六八五

二十期 西尾淑人

私達は卒業二年目に同期会  
を催したきりで、それ以後、  
同期生が一同に会する機会を  
持っていないのは、全く残念  
なことだと思ふ。クラス会に  
ついては、卒業後一、二年は  
各クラス毎、たいへん活発に  
開かれていたようであるが、

最近連絡も途絶えがちにな  
っている。  
しかし、個人的には先生方  
と頻りに接触を持っている友  
人も多い。

今年で二十六才を迎える私  
達の仲間には、適齢期到来と  
ばかり、結婚する者が増えつ  
つある。事実、同期生同志の  
カップルもすでに三組誕生し  
ており、まことにほゞえまし  
いかぎりである。

この時期は住所及び姓を変  
更される方が多いため、該  
当の方は是非ご一報をお願い  
します。特に、女子の方々は  
くれぐれもよろしく。また、  
同期会開催の提起、期のニュ  
ースやお訪ねがありましたら、  
左記までお知らせ下さい。

終りに、ご結婚された三組  
のカップルのご多幸を心より  
お祝いします。  
練馬区大泉学園町一一五  
西尾淑人

二十一期同期会守本 純  
第三回同期会を四十九年一  
月二十六日に市ヶ谷会館で開  
催。金尾、細川、荻野、田上

の諸先生方をはじめ六十六名  
の参加をもって盛会のうちに  
終了。

公式の二次会参加者三十四名、  
三次会へは十五名参加。その  
他詳細は不明。次回は五十一  
年一月の予定です。

二十一期連絡先  
練馬区春日町五一十九一六  
守本 純

計 報

桑沢芳郎君(旧四組)

昭和四十九年三月三日  
パリ上空にて遭難

もなしに母校を去つた私たち。  
あの六十九年闘争を境に若者  
の意識構造ががらりと異なる  
と言う。ほんとかな。  
高校を卒業してからの五年  
間、その貴重さは過ぎてから  
悟るものか。男性諸氏にとつ  
て生活の基盤を築く時間とな  
るわけか。女性にとつては妻  
となり、母となる革命の時間  
か。革命? そんな大げさ  
な。とある主婦入門者はいう。  
(すべて自然にいくものなの  
よ)と。

二十二期 池見粧子  
大泉高校を卒業して六年目、  
現役組も一浪組もそろそろ就  
職する破目となる。若き血潮  
をたぎらせて生涯の仕事に就  
いた者。あいつがあんな意外  
な職場に!

高校時代のアイドル彼女  
はもう嫁いだかな? 独身主義  
をあれだけ唱えながら学生結  
婚をした人。なつかしさに胸  
が高なる。  
六年前あわただしく謝恩会

社会人としての責任から回  
避したいばかりにもう一年留  
年して学生を続けている奴。  
授業料の馬鹿安い国立大だか  
ら許されるのぞ! その費用は  
我々の税金ぞ。はじめてとら  
れる所得税。給料袋を手渡さ  
れたときの、自らの手でかせ  
ぐことの実感。  
就職して六年目を迎え勉強  
がしたくて定時制に通おうと  
しているもの。チエコスロバ  
キアに地理学の留学をしたも  
の。自分で教えてみてはじめ  
て知る恩師の恩。生徒と初の  
個人面接で、生徒になだめら

れた教師のほやほや……

道はそれぞれだ。お互い、  
消息を知らせ合おう。二十二  
期の名簿を作成しようではな  
いか。

六年目の結束！  
所沢市緑町三二五―三  
池見粧子

期報

二十六期のみなさん  
こんにちわ!!  
元気でやつてる？

今度開かれる同窓会に  
は、ぜひみんなで参加  
しましょう！  
懐しい顔が見れて楽し  
いと思うナ。  
じゃ、それまで元気で！

ニュースが特にならないので、こ  
のような文面になりました！

二十六期幹事

二十七期(本年卒)幹事

- 一組 関井 康彰 中田 宏子
- 二組 飯田 良弘 久下 亨
- 三組 坂本 正彦 花田 里美
- 四組 五十嵐秀二 吉野 健三
- 五組 岡田 晴之 三村まり子
- 六組 山田 千秋 佐伯維津子
- 七組 三原 隆 宮井 文子
- 八組 綿屋 慎介 中田 義子
- 升谷 郁子
- 九組 内田 秋夫 荻田 昌子

大泉中学校第一期生

大和田啓三朗

大泉高校同窓会開催通知い  
たゞき感謝いたしております。  
小生の三十年間の経歴と近  
況をお知らせします。

昭和二十年三月卒業。仙台  
工業専門学校(現東北大学工  
学部)入学。二十三年商工省  
入省。通産省と名称も変り、  
八幡・富士製鉄の合併を担当  
して大いに苦勞。四十八年退  
官。現在、神戸製鋼所環境  
技術本部次長。公害対策を担  
当しています。

杉並区下井草五一六一―十三

大泉に帰つて

四期 高橋健三

何の因果か、私は再び古果  
の大泉へ戻つて来ることにな  
った。ここが私の三つ目の職  
場だが、今までと同様、さし  
て明瞭な目的も意図もなく、  
そろそろ住み心地でも変えて  
みようかと思つている所へ、  
お声が掛つて、あれこれ考え  
ていちうちに面倒くさくなり  
気付いてみると、結局、移つ  
てしまつているといふ次第な  
のだ。卒業したきり、二十一  
年も顔を見せず、同窓会の名  
簿からすら愛想をつかされて  
いるような不義理な男に、今  
回声をかけて下さつたのは、  
論語の名講義を聞かせて下さ  
つた「君子」こと、河合先生  
であつた。

× × × × ×

私が、こゝ大泉の地で学ん  
だのは、昭和二十一年四月か  
ら二十七年三月までの、併設  
中及び高校の六年間であつた。  
二十年以上も不義理をして  
来た私にとつて校舎のイメー  
ジは、私の中に埋もれてしま  
つている大泉への帰属意識を

回復させるには全く無力であ  
つた。私の心に残る木造の建  
物のほとんどは影もなく、そ  
の一部がこともあろうに向き  
を変えて残つてゐる。一瞬自  
らの方向感覚を疑つた程であ  
る。円形校舎も体育館もコン  
クリートの教室も、すべてが  
私には縁遠いものであつた。

しかし、この記憶喪失症気味  
の私に電気ショックとでもい  
うような回復力を与えてくれ  
たのは、先ず何と言つても、  
「あーら、めずらしい人が……」  
と笑顔で迎えて下さつた、「  
前田のおばさん」であつた。  
そして今なお、お元気に教鞭  
をとつておられる恩師、「小  
島さん」であり、「橋本さん」  
であり、「本田さん」であつ  
た。私の記憶は一気に時を遡  
り、その空間を押し展げて行  
つた。そして、すでに他界さ  
れた新藤先生、松吉先生など  
の悲しい思い出も含めてエビ  
ソードの数は限りなく、とて  
もこゝではご紹介できないが、  
建物を想い出のよすがとする  
ことのできない今、この地で  
共に過した「人」のみが私の

記憶の糸となつてゐる。

私の最終卒業期の担任は「  
小島さん」であつた。「小島  
さん」(この呼名は在学中か  
らのもの)や「橋本さん」(正  
確には「ハシモツツアン」  
と呼んでいた)と昔語りをす  
るたびに私のあやしげな記憶  
は甦つてきた。やゝ品の悪い  
故に(?)人気のあつた「小島さ  
ん」の授業には、よく「うち  
のカアチャンは……」という  
言葉が出て来たものだつた。  
今思えば「うちのカミサンが  
……」を連発する「刑事コロ  
ンボ」の先鞭であつたのかも  
知れない。今なお、類を見ぬ  
愛妻家である。その彼に言わ  
せると「あの頃のお前は猫を  
かぶつていたのだから。こん  
なにひどくなつて戻つて来る  
なんて……」ということにな  
るらしい、私に対する彼の評  
価は極めて低い。しかし、そ  
んな「小島さん」が、私の転  
任の話が出た時に、どんな気  
持で、推挙の言葉の一つも校  
長に言つて下さつたのかと思  
うと、私は胸が痛くなるほど  
自らの不甲斐なさを恥じてい  
るのである。(英語担当)

音楽部合唱班

十数名の新入部員を迎え、火木金の各曜日に練習を行っています。文化祭参加曲は、大中恩作曲の「風のうた」(カワイ出版)に決定しました。

去る五月三、四、五日の三日間、母校榛名寮においてOB会が開かれました。あいにく雨にたたられて、参加者は十九名しかありませんでしたが、ゲームや合唱に興じて楽しい時を過ごしました。来年はもっと多数の参加を期待しています。

二十五期 小池尙詩

野球部 和

今年、新入部員を加え十九名という大所帯となり、練習を見ても壮快。不安なのは「心の和」。野球は呼吸「心の和」が最も大切であり、それは各人が常にベストを尽くしてのみ初めて掴むことの出来るもの。また、ベストを尽くすことこそ、各人を支えて

くれる全ての人々への感謝の表現だということ。この自覚がとかく部員が多いと薄れてしまいがち。従って、全員がこの自覚のもとに切磋琢磨した時、必ず好成绩が得られること、石に立つ矢を信じ、夏の大会に向かって部員共々努力していきます。

監督 二十四期 藤野英夫

バスケットボール部

現在、男子は一八〇センチ台が三名あり、フオワードとガードの充実振りからして、創部以来最強のチームと自負しております。関東大会予選では惜しくもベストエイト入りを果たせなかつたのは、最も心残りとするところです。

一方、来校するOBの数はクラブ中随一で、OB会の結束を物語っています。練習では、現役の自主性を損わず、自立(律)とチームの和を強調しつつ、来るインハイ予選に向けて現役共々汗を流しております。

近々開催のOB総会では、

多数の方々に現役チームを是非見ていただきたいと存じます。

最後に、長くクラブをご指導下さっていらつしやる、高沢先生と千田先生(本年転任)に感謝の意を表したいと思えます。

二十四期 榎本隆広

サッカー部

最近の大泉サッカー部は東京都内においては、平均以上のレベル、いやトップクラスの私立高校とも肩を並べる程の実力を維持してきています。

私の記憶にあるだけでも四十六・四十七年度は、都のベスト8に、四十八年度もベスト8進出、四十九年度において

は、都のベスト3に入るほどでした。しかも、四十七年度は全国大会、三位の帝京高校とも一対一の好試合をしていますし、ここ三、四年は、他の都立高校には、ほとんど負けませんでした。それも、良き諸先輩方に恵まれる、クラブの伝統とそして何年もの

間、クラブのために、御尽力してくださっている清水先生のおかげだと確信しております。しかし、残念ながらこのところ現役生たちは、毎日毎日、きびしいトレーニングと努力を続けながらも、その成果を試合に出すことができずに大変苦しんでおります。

これを機会に諸先輩方もお暇がりましたら、是非大泉のグラウンドに行つて、後輩達のために良きアドバイス、御指導をしていただけましたら幸いに存じます。

二十四期 望月昌教

バレー部

早いもので、大泉を卒業してから四回目の春を迎えています。今も、しばしばバレー部のOBとして母校を訪れるが、「現代高校生気質」とでもいうのだろうが、そこで私の目に映る生徒たちは、私たちの「時代」とは随分違っているように思えてならない。

現在、大泉は全て昭和三十年代生まれの生徒で構成され

ている。私たち二十年代とこの三十年代の差はきわめて大きいようだ。校内でまず目立つのが、そのカラフルでリラックスした服装だ。昔から大泉には制服なるものは無かった。しかし、私たちの時代には、男子はやはり黒の詰襟が大半で、時々紺や茶のセーターを着たり、グレーの替えズボンで登校したりするのが、大人っぽいような気がしていたものだ。また、それでいて全体としての制服ムードがこわれないところが私は好きだった。またいまの高校生は内面的にもずいぶんリラックスモードだ。私たちの時には、クラブでも一年先輩は、たいへん大人で偉いように見え、一線を画して接していたが、今やそんな雰囲気は無く、一年から三年まで同等の仲間意識といったものの方が強いようだ。

良かれ悪しかれ、世代は明らかに変わってきた。私たちにも「今の若いモン……」とつぶやかねばならない時代がきているようだ。

二十四期 片山直明

教職員の異動

(五十年年度)

- △田端 久平 教師
- △立北野 高校長
- △佐伯 孜 先生 (英語)
- △立日比谷 高校
- △千田 勇司 先生 (数学)
- △都立 白鷗 高校
- △牧野 玲子 先生 (国語)
- △都立西 高校
- △平井 靖子 先生 (養護)
- △都立赤坂 高校
- △西尾 道子 さん (事務)
- △退職
- △野原 辰雄 さん (警備)
- △王子養護 学校
- △東京大 三名 △都立大 一〇名
- △東工大 三名 △学芸大 一五名
- △筑波大 四名 △埼玉大 一三名
- △千葉大 九名 △横浜国大 四名
- △一橋大 四名 △農工大 五名
- △北大 七名 △芸大、横浜市大、電通大、水産大、各二名、その他八名。

私立大学

- △早大 六三名 △理科大 二八名
- △慶大 二二名 △学習院 一三名
- △立大 二九名 △青学大 二五名
- △明大 二九名 △武蔵大 一四名
- △法政 一八名 △武蔵工大 九名
- △上智 一五名 △明治学院 八名
- △成蹊 一三名 △日本大 三七名
- △中大 四〇名 △成城大 八名
- △日女 一〇名 その他 一一〇名

短期大学

- △東女 七名 △青学女子 一〇名
- △跡美 六名 △学習院女子 四名
- △実践 九名 △立教女子 四名
- △大妻 三名 △山脇学園 三名
- △共立 六名 △その他 二四名

各種学校

- △東京デザイン 二名 △官崎航空 大学 校、玉成 高等 保育、中野 タイピスト、一橋 S・B、都立 洋裁 学校、各一名、その他 二名。

◇「各期のたより」に掲載以外の各期の幹事を紹介します。

- △各期 一期 名倉 光雄
- △各期 二期 菊谷 義美
- △各期 三期 鯉川 省三
- △各期 四期 谷 秀男
- △各期 五期 田部 一郎
- △各期 六期 榎本 隆弘
- △各期 七期 藤勝 周次
- △各期 八期 古屋 一仁
- △各期 九期 平野 博文
- △各期 十期 小池 一彦
- △各期 十一期 岳史・片岡 由貴子
- △各期 十二期 中島 久美子
- △各期 十三期 戸田 一誠
- △各期 十四期 吉田 登代子
- △各期 十五期 藤高 和信
- △各期 十六期 高野 泰
- △各期 十七期 藤勝 周次
- △各期 十八期 杉並 区 上井 草 一 一六 一 二五
- △各期 十九期 練馬 区 北 大 泉 一〇 一 三
- △各期 二十期 練馬 区 南 田 中 二 一 六 一 二
- △各期 二十一期 台東 区 池 之 端 三 一 二 一 一四
- △各期 二十二期 清水 庄
- △各期 二十三期 一組 高橋 丈雄・加藤 弘充
- △各期 二十四期 二組 鴨下 栄紀・横山 久恵
- △各期 二十五期 三組 岡田 稔・沢守 知子
- △各期 二十六期 四組 新谷 一公・星 枝折
- △各期 二十七期 五組 茂住 岳史・片岡 由貴子
- △各期 二十八期 六組 齊藤 美由紀・平野 弘道
- △各期 二十九期 七組 齊藤 豊和・石井 久美子
- △各期 三十期 八組 新井 和雄・石山 育子

九組 木村 典嗣・森田 優子

◇名簿改訂については永らく懸案となっており、先生方や同窓諸兄弟に不便をかけておりましたが、各期幹事のご努力により、現在編集の最終段階に入っております。

編集後記

会報の編集責任者は代々うけつがれてきたようですが、いずみ会の規模の拡大につれて、スタッフも頭数が必要になったようです。今回は、先輩後輩の連合軍でチームワークよく完成にこぎつけました。次号の充実をはかるべく、もう準備に入らなければならぬというのが感想です。

第十九号

昭和五十年六月一日  
発行所 いずみ会  
東京都練馬区東大泉三八〇  
東京都立大泉高等学校内  
編集 いずみ会々報編集部  
印刷所 (有) 昭映社